

和歌山県は、公益財団法人日本オリンピック委員会（JOC）と、オリンピック・ムーブメントの推進及びスポーツ振興を目的とした諸事業を展開するため、JOCパートナー都市協定を締結



■ JOCパートナー都市協定締結式

日 時：令和6年1月26日（金）13：30～14：00

場 所：ホテルアバローム紀の国 4階 羽衣の間

出席者：公益財団法人日本オリンピック委員会（JOC）

専務理事 尾 縣 貢

常務理事 小 谷 実可子

常務理事 星 香里

和歌山県知事 岸 本 周平

和歌山県教育庁生涯学習局スポーツ課長 田 伏 利久

1 開会

2 出席者紹介

3 JOCパートナー都市協定概要説明

（JOC小谷常務理事）

JOCと和歌山県とのパートナー都市協定締結に先立ち、本事業の概要について、ご説明をさせていただきます。

JOCパートナー都市は、2001年5月にJOCが策定した国際競技力向上事業戦略、JOCゴールドプラン、強化拠点ネットワーク構想の一環として、各都市と連携し、自治体が所有するスポーツ施設をトップアスリートの選手強化に活用することにより、競技力向上を図ることを目的にスタートしました。

当初は日本国内において、国際総合競技大会の開催や、招致活動を行った経験を持つ都市を中心に、一部オリンピック・ムーブメントの推進についてご理解いただいた都市も加えて協定を締結して参りました。

その後、2018年に東京2020大会終了後を見据え、改めてパートナー都市の位置付けを見直し、これまで主としてきた選手強化の部分については、初期の目標が概ね達成されたことから、今後はJOCが進めるオリンピック・ムーブメント推進事業を継続的かつ長期的に実施いただける都市と締結していくことといたしました。

2002年に締結した大阪市を皮切りに、これまで日本各地の33都市とパートナー都市協定を締結しておりますが、本日締結させていただく和歌山県が34番目の都市となります。

和歌山県は昨年、本会が進めるオリンピック・ムーブメント事業の1つであるオリンピック教室の実施にご協力をいただいておりますが、この協定締結を機により一層連携しながら、オリンピック・ムーブメントを推進していくとともに、さらに双方にとってメリットのある事業を展開していきたいと考えております。

4 署名

5 挨拶

(JOC尾縣専務理事)

初めに、この度の能登半島地震でお亡くなりなられました方々に心からご冥福を申し上げます。また被災された方々に対しまして心からお見舞い申し上げますとともに1日も早い復興を願っております。

本日、和歌山県とのJOCパートナー都市協定を締結いたしました。JOCの理念には、すべての人々にスポーツへの参加を促し、健全な精神と肉体を持つ人間を育て、オリンピック・ムーブメントを力強く推進すること。そして、これを通じて人類がともに栄え、文化を高め、世界平和の火を永遠に灯し続けることをうたっております。

加えましてJOCビジョン2064では、スポーツの価値を守り、創り、伝えることを掲げ、その活動方針の1つとして、オリンピズムが浸透している社会の実現を目指しております。

この理念とビジョンを達成するためには、JOCパートナー都市との協力は欠かせません。本日、JOCパートナー都市協定を締結した和歌山県の皆様と、今後もスポーツを通じて、そしてオリンピック・ムーブメントの活動を通じて、相互理解を深め合い、お互いに尊重し協力しながら、ともに活動を続けて参ります。

平成30年に策定された和歌山県スポーツ推進計画は昨年一部改定され、共生社会の実現に向けてスポーツの価値や、オリンピック及びパラリンピックの意義を学ぶ、オリンピック・パラリンピック教育の推進が具体的な方策として、掲げられていると伺っております。それを受けまして、昨年10月、県内で初めてとなるJOCオリンピック教室を実施していただきました。今後も、本会の協力が、和歌山県が掲げる学校と地域におけるスポーツ環境の充実、ライフステージに応じたスポーツ活動の推進、そして世界の舞台で活躍できる競技者の発掘、育成、強化等の基本方針の実現に繋がっていくことを期待しております。

また同時に、スポーツの価値をオリンピック・ムーブメントの活動を通して感じていただくことや、参加者の笑顔や学びの機会を通して社会の発展に役立てるよう、皆さんとともに次世代のオリンピックの姿を創り上げていきたいと考えております。

最後に、本協定が有意義かつ実りあるものになりますよう祈念をいたしまして、ご挨拶とさせていただきます。岸本知事、今後ともよろしく願いいたします。

(知事)

本日、JOCパートナー都市協定の締結式を迎えることができました。尾縣専務理事、今も現役の小谷常務理事、和歌山にとっても深いご縁をいただいております星常務理事に來県いただき、大変感謝申し上げます。

昨年、和歌山県のアドバイザーボードメンバーである山下会長に知事就任のご挨拶に伺いました。

25年ほど前から異業種勉強会で、ご一緒していた友人の一人でもあり、ざっくばらんにお話をしたところ、山下会長から「オリンピックとパラリンピックが本当の意味で一体化したのは、東京オリンピックからなんですよ。」というお話をいただきました。

和歌山県もオリンピックを輩出しておりますので、ぜひオリンピック・ムーブメントについて考えていきたいこと、また競技スポーツとしてのパラリンピック、障がい者の方が気軽に体を動かせるスポーツ振興も推進していきたいというお話をしたところ、JOCパートナー都市協定についてのご説明をいただき、今日に至りました。

尾縣専務理事からもご紹介がありましたが、昨年10月に陸上競技短距離のオリンピックである高平先生が来県してくださり、県立向陽中学校でオリンピック教室を実施していただきました。とてもよいスタートが切れたと思っております。

何より関西地域としては2027年、ワールドマスターズゲームズ2027関西が開催されます。関西広域連合、和歌山県も含めて大変力を入れております。

延期もあったことから、より力が入っているわけではありますが、マスターズということですから、おそらく小谷常務理事にもご参加いただけるであろう、星常務理事は絶対参加すると仰っておりますので、私もどうしようかなと思っているところですが、今回のJOCパートナー都市協定締結を機に和歌山県民がオリンピック・パラリンピックに興味を持って、スポーツを愛好する動きにしていきたいと考えておりますので、尾縣専務理事、どうかよろしく願い申し上げます。

6 質疑応答

7 フォトセッション

8 閉会